

第5回（仮称）松林地区地域集会施設等複合施設整備懇談会 会議結果

会議の名称
第5回（仮称）松林地区地域集会施設等複合施設整備懇談会
日時
令和5年11月8日（水）17時から19時まで
場所
松林公民館 第1会議室
出席者
（出席委員）10名 神原委員、齋藤委員、新井委員、五反田委員、井野委員、田中委員、澤委員、葛西委員、青柳委員、佐藤委員 （欠席委員）7名 福井委員、柴田委員、湯地委員、剣持委員、苗川委員、鈴木委員、中里委員 （事務局）6名 くらし安心部 市民自治推進課：小西課長補佐、原田主査、忠隈主査 建設部 建築課：上之園課長補佐 福祉部 地域福祉課：大澤課長補佐 高齡福祉課：本多課長補佐 （設計事業者）3名 株式会社洋建築企画 山口、清水、芥
議題
1. ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）について 2. 外階段やテラス等について 3. 建物のカタチについて 4. 床の仕上げについて 5. その他
会議資料
・ 次第 ・ 平面図・立面図

会議結果	
資料確認	(配布資料について確認)
議題	<p>(1) ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) について (事務局より説明)</p> <p>ZEB について市の方針として今後の事を考えて、急遽 ZEB 認証を目指すようになったのでその内容について懇談会メンバーと共有しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在決まっている建物にどれほど影響が出るのか？【委員】 →ZEB には計算が必要であり、それにより壁の厚み、設備機器の変更や窓の変更が出てくる。それに伴って倉庫や諸室が小さくなる可能性はある。【事務局】 ・ 予算的なモノはどうか？【委員】 →今回の ZEB に関しては市の方で予算を増額する。【事務局】 ・ ZEB に関して取得してから利用者側で手間が増えることはあるか？【委員】 →それはない。【事務局】 <p>(2) 外階段やテラス等について (資料「平面図」に基づき事務局より説明)</p> <p>今後、外階段とテラスの活用について変更の可能性がある。建物の管理上と利便性で相反するものがあり、市の方でどうするか課題になっている。最終的に次回懇談会(11/21)に見せられるようにする。またカフェの厨房部分に関して、これまで運用の話をしておらず、受付・事務室に関しても内部が決まっていない為、今後レイアウトの変更は出てくる。その内容も11/21に説明する。</p> <p>(3) 建物のカタチについて (資料「平面図・立面図」に基づき洋建築企画より説明、意見交換)</p> <p>第4回の懇談会で配布した図面から変更したところを伝える。 ひとつ目は平面図の縮尺(縮小する比率)を1/300から1/200にした。 ふたつ目は前回までは線だけの図面だが、今回は柱、壁、扉、窓がわかる</p>

ようにしている。

変更した内容についてご説明する。

外部は車椅子用駐車場と荷捌き駐車場を入れ替えた。車椅子用駐車場と荷捌き駐車場から出入り口までの距離はあまり変わらないが、荷捌きの方が停車時間が短いので、近隣側にした。

内部は4か所変更した。①EVの出入口の向きと階段の上り口の位置、②授乳室の出入口の位置、③2階音楽室の南側廊下に倉庫を作ったこと、④音楽室の前のテラスにメンテナンス用階段を設置。

①EVの出入口を東側から南側にした。それにより階段の上り口が受付側となった。

②授乳室の出入口の位置は第4回懇談会でいただいた意見を反映したもので、南側に扉がない出入口にした。内部の配置についてはトイレの配置と共に設備設計や茅ヶ崎市と検討中。先日の案だと大便器の数が少ないのではないかという意見もあり、再検討している。

③2階音楽室の倉庫を南側廊下に設けた。意見を聞いて、廊下は狭くなくても、部屋は狭くならないように廊下の一部を倉庫にした。

④音楽室前のテラスにメンテナンス用階段を設置した。この施設に必要な設備にキュービクルや空調室外機など大きなものがあるが地上に置く場所がとれないことから建物の屋上に置く。メンテナンスのために屋上に上がれるようにする必要があるが、日影規制のため北側はこれ以上高くすることができず、現在の階段の続きで屋上にあがることができない。そのため、ここに設置した。

図面の修正箇所のご説明は以上である。設備の設置場所については、どこにどの程度の大きさのものが設置されるのか検討している。収納や倉庫と関係があるため、次回まとめてお話ししたいと考えている。

建物の形について、図面水色の部分がガラスで白や横線が入っているところは壁である。第2回懇談会で、コミュニティの育まれる場所はどんなところだろうかという話してポイントは4つ示した。

○外から活動が見えるようになっている。

○目的なくふらっと立ち寄ってみようと思う空間がある。

○多様な居場所がある。

○フレキシブルに使える。

外観について、外から活動が見えるようになっている、というコンセプトにより見えるようになっていた方が良くと思われるところを窓にしてい

る。南側から見た様子は、道路から見えること、屋外スペースから見えることを考えている。1階と2階のフリースペースに面するところは床から天井までガラスにしている。体育室については騒音の問題があるので、道路側は小さな窓にした。東側から見た様子は、道路から屋外スペース、小上りと調理室が見えることを考えた。小上りは床と段差をつけることを考えており、小上りの床から天井までガラスにした。体育室も屋外スペースから見えるように床から天井までガラスとなっている。北側から見た様子は、駐輪場があり多くの人が利用する所なので見えるようにした。西側の包括とボラセンはプライバシーを確保するため窓は一部。音楽室は北側の隣地に対して遮音する必要があるため窓は一部にしている。西側から見た様子は、全体的に西日対策でなるべく窓を少なくしている。包括ボラセン、音楽室は先ほど北側と同様の理由で窓は一部にしている。体育室の1階部分は倉庫なので、見えるところはない。2階部分は遮音を考え壁にしている。

屋根について、体育室はできるだけ天井を高くしてほしいという要望があった。その為、高さ制限の10m程度まで高くしている。それにより、他から飛び出るような形状になっている。低い部分に設備機器が乗っており、太陽光発電のパネルを載せるところが無いので体育室の屋根を利用している。

庇について、この建物の特徴として庇を一周まわしている。大きな窓でも庇が太陽の陽ざしを遮る。特に南側は大きくテラスを張り出しているのので、陽ざしを遮る効果は大きくなる。

内部間仕切りについて、建物内の部屋と部屋の間にある間仕切りについてもご確認いただきたいと思っている。平面図で細い線二本線はガラス。黒い太線は壁。外から活動が見えるようになっている、というポイントは間仕切りにも反映している。

説明のあったZEBについてはまだ検証はできていない。ZEBの検証により変更せざるを得ない箇所が出てくる。その際にご報告する。

・ 屋上に置くのは何か？【委員】

→電気設備、空調機械設備、消火水槽、太陽光パネル等の機械を置く。
あとは屋上緑化になる。【洋建築企画】

・ 体育室の倉庫幅は？【委員】

→押し入れぐらいの奥行である。【洋建築企画】

- ・ 体育室の天井高さはどのくらいか？【委員】
→約 9mは確保できる。【洋建築企画】
- ・ 2階会議室に倉庫はあるか？【委員】
→会議室 3 と 5 は確保できるが 4 だけは確保できない。【洋建築企画】
- ・ 包括の柱の大きさは図面通りで良いか？【委員】
→概ねその通りである。通常柱の周りにボードを張るが相談室内の車椅子移動も考慮してむき出しの柱の大きさとなっている。【洋建築企画】
- ・ 屋上部分の立面図が変わることはあるか？【委員】
→機械設備や太陽光パネルはないのでそれは今後記載する。【洋建築企画】
- ・ 柱と ZEB は関係あるのか？【委員】
→あまり関係はない。だが関連して壁の断熱性能の等級は上がるので、壁の厚みは大きくなる。【洋建築企画】
- ・ トイレのレイアウトが前回と違うが変更理由は何か？【委員】
→現在、様々な意見を踏まえ検討中である。11/21 には見せる事ができるようにする。【洋建築企画】
- ・ ガラスのメンテナンス費用が高いのではないかと壁にした方が良くはないか？【委員】
→メンテナンスの仕方により変わってくる。自分たちで掃除できるようにしている。【洋建築企画】
- ・ 定期的な清掃は入らないのか？【委員】
→定期的に外注する。【事務局】
- ・ 音楽室の防音はどんなものか？【委員】
→その他施設の音楽室同等の防音性能にはする。【洋建築企画】

- ・ 音楽室の倉庫はもう少し欲しい。扉を一つ潰して倉庫に出来ないか？
【委員】
→それは対応可能なので要望があれば、市を通して言ってもらえれば変更する。【洋建築企画】
- ・ 音楽室の広さはどのくらいか？【委員】
→70 m²ほどあり 50 人くらいは入れる。【洋建築企画】
- ・ 2階の西側テラスはどの様な扱いか？【委員】
→一般に出る事はできない。緑地の確保のために植栽するのとメンテナンスの為の空間にする。【洋建築企画】
- ・ 屋外のシンボルツリーの部分に遊具が置けたりするのか？【委員】
→技術的に可能なので、予算との兼ね合いにより検討する。【洋建築企画】

(4) 床の仕上げについて

(資料「平面図・立面図」に基づき洋建築企画より説明)

床の仕上げについて、お配りした1階2階平面図共にカラフルになっているが、使用している材料の違いを示している。

1階について、屋外からフリースペース、さらに会議室や調理室まで同じコンクリートで仕上げていることを示している。外部と同じ仕上げにし、空間がより広がって見えることを狙っている。茅ヶ崎市ではあまり馴染みがないが、最近では様々な公共空間で使われている。体育室の床は跳んだりするので弾力性が必要のためフローリングにする。包括とボラセンは他のスペースとは用途が違うので、リノリウムという天然の素材でできた床材を考えている。小上りは畳にする。

2階について、2階も空間がつながっていることを意識してフリースペースと会議室、廊下はリノリウムにしている。音楽室は楽器の演奏の他、ダンスに使用すると伺っているため、体育室と同様フローリングを考えている。2階のトイレはビニル床シートを考えている。テラスは茅ヶ崎らしい雰囲気を考えて、人工木のデッキを階段まで連続して使用することを検討している。

それぞれの材料について、コンクリートには表面強化剤という材料を表

	<p>面に塗ることでコンクリートに浸透し、表面にある小さな穴を塞ぐ。時間が経過するとともに水分などの不純物がぬけ、更に表面が硬化する為、コンクリートの劣化を防ぎ、耐久性が向上し、防汚効果も期待できる。メンテナンスも簡単なので、最近多く使われている。</p> <p>リノリウムやビニル床シートについて、ビニル床シートはメンテナンスが比較的簡単で安いので良く使われている。リノリウムは天然素材のものだが、ビニル床シートより耐久性が高く、下足空間において長く使用に耐えられるという特徴がある。</p> <p>(5) その他 (特になし)</p>
<p>その他特記事項</p>	
<p>第6回の懇談会の開催は11月21日を予定</p>	